

時代を先ゆく元気で勢いのある下関中等教育学校

～グローバル社会で求められる学力・人間力の育成に向けて～

山口県立下関中等教育学校 校長

檜垣英夫

一 はじめに

平成二十二年三月、六年一貫教育を受けた生徒が初めて下関中等教育学校を卒業して、早くも十年が経過しました。当時、教頭をしていた私は、本校の特色の可視化とその発信、そして、生徒の希望進路の実現に東奔西走しておりました。中でも、本校の教育理念である「地域の特性を生かし、国際化の進展に対応した学校づくり」の具現化に向けて、韓国や中国をはじめとした諸外国の生徒との直接的な交流に力点を置き、実際に海外に出向いて異文化を体験させる、或いは、海外の生徒に来校してもらい、本校の学校生活の一端を体験する中で、日本の伝統・文化を理解してもらう、このような形態の交流を行っていました。

そのような中、平成二十年九月、国の事業である「二十一世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、「日韓交流おまつり 2008 in Seoul」が韓国で開催されるということで、韓国慶尚南道の高校生十二名をここ下関に招き、平家おどりを合同で練習した後に、同おまつりの開催会場であるソウルで平家おどりを披露すべく、本校生徒十四名を含め、総勢二十六名の生徒を韓国ソウルに引率する機会に恵まれました。下関滞在中は、地元の方の力も借りながら合同で平家おどりの練習をしました。本校生徒は、一回生時に全員が平家おどりを練習しており、基礎はできていましたが、韓国の生徒は初めての体験で、最初は戸惑いの様子もみられました。しかしながら、練習を重ねていくうちに、本校生徒にひけを取らないくらいにまで上達し、ソウルでの本番ステージで披露した、韓国高校生と本校生徒のコラボによる平家踊りは息ピッタリで、韓国及び日本の観客から惜しみない拍手をいただいたことを今でも鮮明に覚えています。

韓国でのこのイベントに参加した本校生徒は、韓国の高中生と交流する中で、平家踊りの振付けを英語やハングル、或いは、ジェスチャーを交えながら彼らに教える役割も担っていましたが、その中の一人に、現在、「平家踊りが踊れる」アナウンサーとして、県内のテレビ局に勤務し活躍している卒業生がいます。彼女は、担当している番組の中で、山口県のニュースや県内の伝統・文化を含め様々な情報を発信していますが、このような卒業生がいることを大変誇りに思っています。

彼女のように、幅広い視野をもち、平家踊りという地元の伝統文化を体験を通して理解した上で、海外の高校生にも教えることができる、このような「グローバル人材」を育てる教育は、本校では現在も引き継がれ、「飛翔プロジェクト」の柱の一つとしても位置付けられています。

二 本校が推進している六つの教育活動「飛翔プロジェクト」

本校の教育活動が、「飛翔プロジェクト」として体系化され、その推進に向けて、組織的な取組が始まり四年が経つことから、改めて本プロジェクトを紹介し、今年度の主な成果を記してみます。

【飛翔プロジェクト】

- ① 大学・地域連携：コミュニティ・スクール導入による大学や地域との連携
- ② 人間教育：生徒会活動・部活動等による豊かな人間性と主体性の育成
- ③ 学力育成：6年一貫の効果的な教育課程による学力育成と希望進路の実現
- ④ 国際教育：国際交流と語学教育の充実によるグローバル人材の育成
- ⑤ サイエンス教育：理数教育や講演会の充実等による理系人材の育成
- ⑥ 総合学習「海峡学」：キャリア教育と探究活動による主体的学習者の育成

②の「人間教育」では、且陵祭や体育大会などの学校行事において、生徒自身が各行事を企画・運営し、本校の校訓の一つでもある「自主」の精神を遺憾なく発揮しました。部活動は、特に今年度は実績を上げており、全国大会に出場する際に掲げる横断幕が、今までになく多く見られました。ハンドボール部の三名とバレーボール部の二名が茨城国体に参加し大きな成果を上げてきました。また、弓道部や陸上部の全国大会出場をはじめ、④の「国際教育」と⑤の「サイエンス教育」にも関係しますが、「中国語スピーチコンテスト」や「科学の甲子園ジュニア」でも、全国大会出場を果たしました。さらに、ダンス部も、地域の行事から大きな大会出場まで、その活躍の場は幅広く、様々な団体等から、出演依頼を受けることも多くなりました。一方、歳末助け合い募金や海岸清掃などのボランティア活動も、豊かな心の育成に繋がったものと思います。

③の「学力育成」においては、日頃の授業や課題学習、日々の朝学や早朝・放課後・長期休業中の課外授業、そして、六年一貫のメリットを生かした先取り・速習など、様々な学力向上に係る活動に生徒が意欲的に取り組みました。また、①の「大学・地域連携」に係る後期課程の大学等ゼミ訪問を活用した卒業研究では、各自テーマに応じて調査・研究を重ね、その発表に向けての資料づくりやプレゼンを通して、主体的で対話的な深い学びを実現させました。

このような教育活動を展開する中で、本校生徒は、「知・徳・体」をバランスよく身に付けています。とりわけ、本校の教育活動で重視している「学力の育成」と「人間力の育成」においては、六年一貫の効果的な教育課程やきめ細かな学習機会の提供、これを受けての日々の地道な実践努力を通して、大きな成果を上げてきており、それが各種学力調査や卒業生の大学入試の結果、或いは、部活動の成績等にも反映されています。また、グローバル人材に必要とされる資質・能力を身に付ける教育活動も充実しており、今年も一回生全員が、馬関まつりの「平家おどり総踊り大会」に参加する一方で、語学研修で海外へ出向いていく生徒も年々増えてきていました。

三 おわりに

グローバル化とAI（人工知能）の進展等が加速化する変化の激しい時代にあって、未来社会を力強く生き抜いていく力が一層求められています。今後も、開校十六年目を迎える本校のさらなる飛躍に向け、山口県唯一の中等教育学校として、将来を見据え、学力育成をさらに推進するとともに、グローバル人材を育てることを通して、時代のニーズに応じた山口県を牽引していく学校として、本校はゆるぎない存在になっていきます。夢や希望をもって本校を選んで入学した生徒が、志を高くもち、それぞれの夢の実現に向けて、勉学やスポーツ・文化活動に励むことにより、本校が一層元気で勢いのある学校になっていくことを大いに期待しています。